

令和4年度5月例会報告

- 日時 令和4年5月25日(水)
- テーマ 根郷、直弥、和田を歩く
- 集合 9時00分(内郷児童公園)
- 参加者 30名
- 解散 15時15分(京成佐倉駅北口)
- 距離 20キロ
- 案内役 リーダー:永吉信行、サブリーダー:武関 玉城、小平 明男
- コース ①内郷児童公園⇒②中央公民館(WC)⇒③真岡跨線橋⇒④普門院⇒⑤根郷公民館(WC)⇒⑥直弥公園(WC)⇒⑦宝金剛寺⇒⑧和田ふるさと館(昼食・一次解散)⇒⑨上本踏切⇒⑩トライアル(WC)⇒⑪将門口の宮神社⇒⑫京成佐倉駅

20キロのコースにチャレンジ

5月25日、快晴のもと、歩こう会5月例会が開催されました。

参加者は30名で、久々の20キロコースにチャレンジです。

ホームページには、「毎月20キロ前後を楽しく歩く会です」とうたっていますが、コロナ禍の影響で、ここ数年、残念ながら20キロは歩いていません。

今回のリーダーは、歩こう会古参の永吉さん。どんな長距離でも苦しめない鉄人・永吉さんの歩く背中では「黙って俺についてこい」と語っているようです。

さて、果たして何人の参加者が最終ゴール地点までたどり着けるでしょうか。



コース説明をする永吉リーダー

時崎の弁天さまの池

まずは、内郷児童公園で朝礼、準備体操を終え、根郷公民館を目指します。

JR佐倉駅の南側に位置する根郷地区は3つの広大な工業団地と新興住宅街が立ち並ぶ一方で、昔からの水田や農村地帯が広がっています。

六崎で立ち寄った「時崎弁天」は、池の中の島にある弁天神社が新緑に映える神秘的な場所でした。

古くから近隣の信仰を集めていましたが、氏子の方々の高齢化が進み、以前は池の周囲が荒れ放題となっていました。

7年前、市民ハイキングで現地を訪れた佐倉市民カレッジ(23期生)のメンバーがその現状を憂い、仲間を募り、月2回、弁天さまの池を含む周囲の環境美化活動を始め、現在もその活動は続いています。そのメンバーの一人が本日のサブリーダーである小平さんだということを知りました。地道な活動に頭の下がる思いです



時崎弁天の池

直弥公園の生態系保全区域を歩く

根郷公民館で一休みした後は、直弥公園を目指します。

直弥公園は、谷津田生態系保全区域に指定されています。谷津田とは、台地の谷間の湿地帯に営まれてきた田んぼのことで、その自然環境は、佐倉を代表する景観となっているとともに、多くの生き物が住む大切な生息場所となっています。私たちになじみの深いメダカやトンボ、カエルなどの多様な生態系の保全を願いつつ、広い公園の自然道を歩きました。



谷津田生態系保全区域(直弥公園)を歩く

宝金剛寺と北条氏勝

和田地区の宝金剛寺は、時間の関係で境内には入りませんでした。小田原北条氏一門でありながら、徳川家康の家臣に転身した武将、北条氏勝(1559~1611)が祀られているお寺として有名です。偶然ですが5月28日から佐倉市立美術館にて、「文化財が紡ぐ佐倉の歴史 ー宝金剛寺と北条氏勝ー」の展示が始まります。後学のため、是非、鑑賞に行かれてはいかがでしょうか。

その後、和田ふるさと館で昼食休憩となりましたが、ここまでが全行程の3分の2といったところです。かなり疲れもたまってきましたが、ここからはバスが出ており、一時解散場所となっています。何人かの方が帰られましたが、無理をしないで自分の体力に合わせて歩くのが佐倉歩こう会のルールなんです。



宝金剛寺



和田ふるさと館前にて

その後、和田地区を抜け、大佐倉にある「将門口の宮神社」に立寄りました。ここは佐倉ゆかりの英雄である平将門と佐倉惣五郎が祀られています。境内の石碑によれば、平将門の同族である千葉氏によって建立された神社で、その後、佐倉藩主・堀田正信により、義民として知られる佐倉惣五郎が合祀されたとのことです。佐倉ゆかりの二人の英雄を同時にお詣りできるなんて、ちょっと得した気分です。

ふらふらになりながらも、何とかゴール地点である京成佐倉駅に到着したのが、15時過ぎ。

22名の皆さんが完歩しました。お疲れ様でした！！！！

この後のビールが美味しいぞ～。(報告 伊香賀)